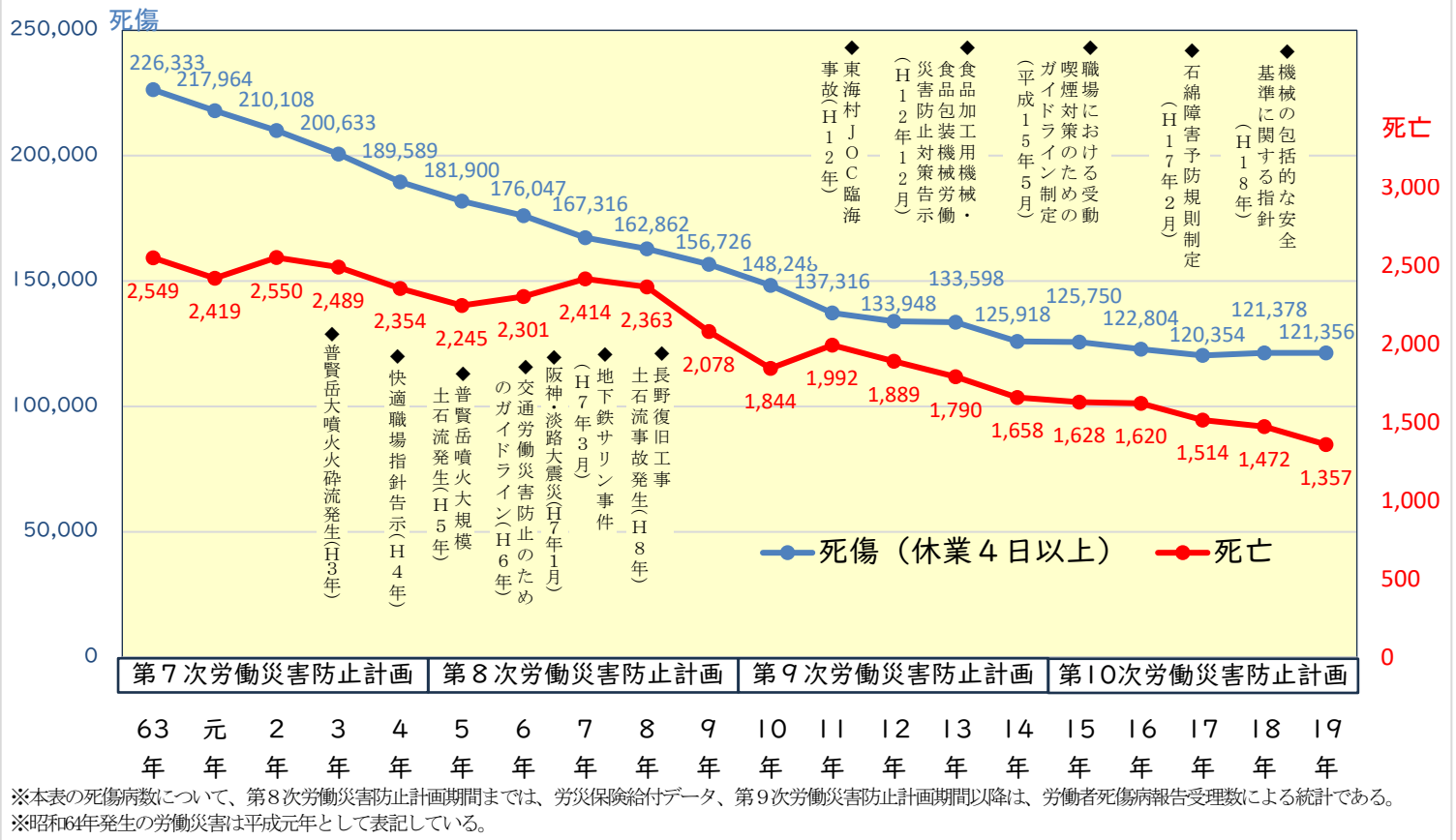


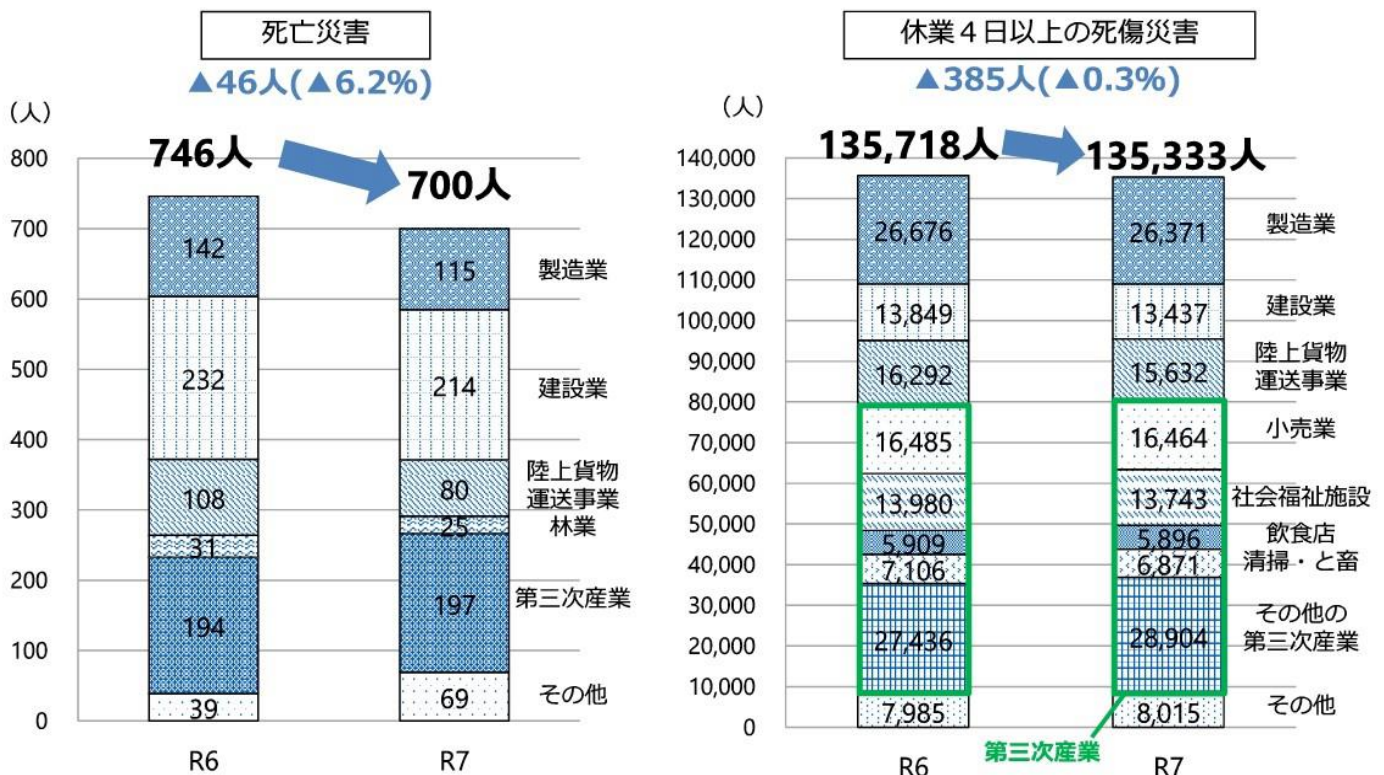
1 全国の労働災害発生状況

(1) 労働災害発生状況の推移 (昭和63年～令和7年)



(2) 業種別労働災害発生状況 (令和7年)

業種別労働災害発生状況 (死亡者数、休業4日以上死傷者数) R6/R7比較



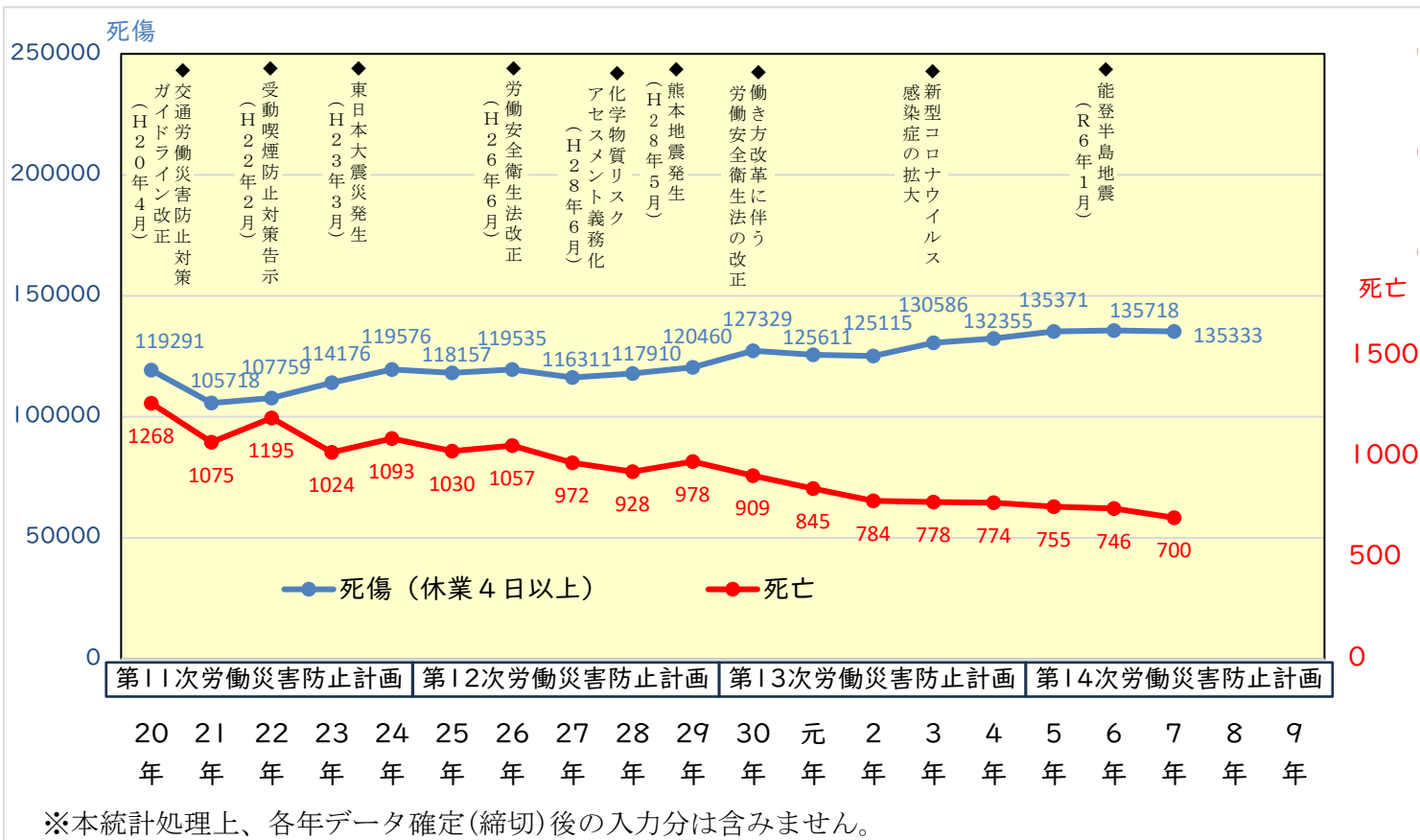
※ 令和7年1月1日から令和7年12月31日までに発生した労働災害について、令和8年4月7日までに報告があったものを集計したもの

出典：死亡災害報告

※新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を除いたもの

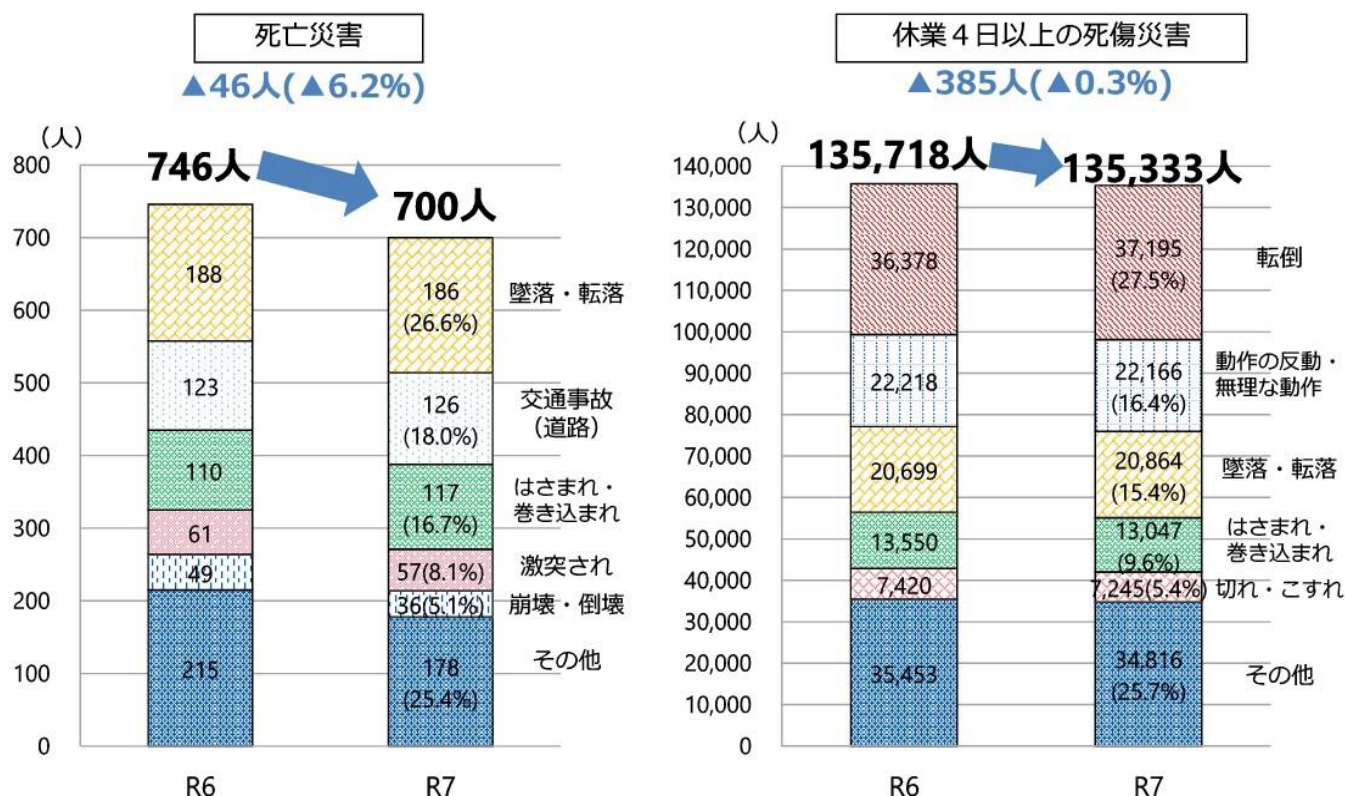
出典：労働者死傷病報告

※新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を除いたもの



(3) 事故の型別労働災害発生状況 (令和7年)

事故の型別労働災害発生状況 (死亡者数、死傷者数) R6/R7比較



※ 令和7年1月1日から令和7年12月31日までに発生した労働災害について、令和8年4月7日までに報告があったものを集計したもの

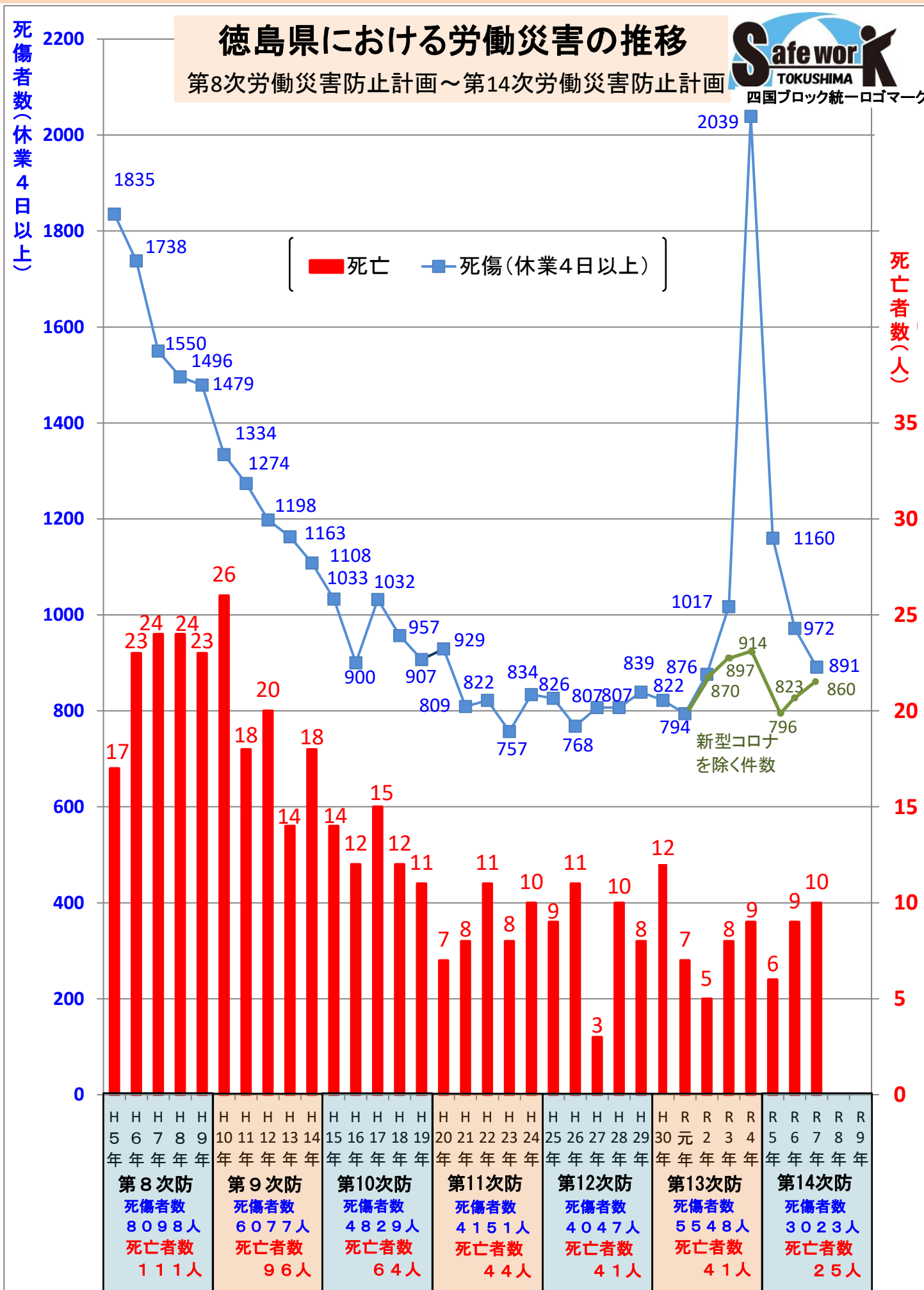
出典：死亡災害報告

※新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を除いたもの

出典：労働者死傷病報告

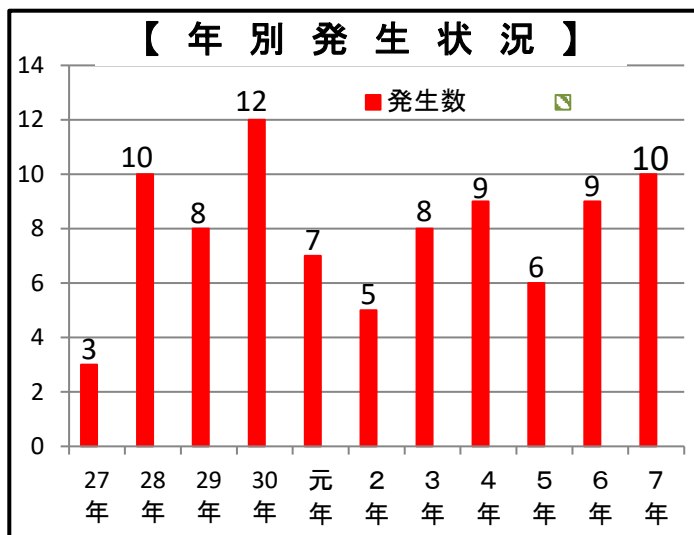
※新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を除いたもの

(1) 労働災害発生状況の推移(平成5年～令和7年)



(2) 徳島県の死亡労働災害発生状況(平成27年～令和7年)

(※ 各表の単位:「人」)



①業種別 (死亡者数)

業種	年											計
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	
製造業		3	1	2	2			1		1		10
建設業		2	4	4	3	3	3	4	2	2	3	30
道路貨物運送	2	1		1	1	1	1	3				10
林業			1						1	1	1	4
三次産業	小売業	1	1		1		1			2		6
	小売以外		1	1	2			3		1	3	13
上記以外		2	1	2	1		1	1		2	4	14
計	3	10	8	12	7	5	8	9	6	9	10	87

②年齢別 (死亡者数)

年 年齢	年											計
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	
～19				1								1
20～29		1	1		1		1					4
30～39		1	2	2	1		1	1				8
40～49			1			1		3		3	3	11
50～59	1	3		3	3	3	3	1		4	1	22
60～65		1	2	2	2	1	1	2	2	2	2	17
65歳以上	2	4	2	4			3	2	3		4	24
計	3	10	8	12	7	5	8	9	6	9	10	87

③規模別 (死亡者数)

年 規模	年											計
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	
1～9人	1	8	6	7	3	1	3	2	2	2	6	41
10～29	1	1	2	2	1	3	3	2	4	3	3	25
30～49	1	1		2	1	1	1	3		2	1	13
50～99							1	1		2		4
100～299				1	1			1				3
300～499					1							1
500人以上												
計	3	10	8	12	7	5	8	9	6	9	10	87

④事故の型別/起因物別 【平成27年～令和7年】 (令和7年12月末) 令和8年4月確定値

事故の型	起因物											計			
	建機等	設機	一動機	般力機	他動機	力機	動クレーン等	動力運搬機	乗物	用具	建築物・構築物等		物質・材料荷	環境等	左記以外の起因物
墜落・転落	5						2	5		1	10		1	2	26
転倒	1							1			3				5
飛来・落下	1						1	1							3
崩壊・倒壊											2		1		3
激突され	1				1		1	2		1			3	1	10
はさまれ・まきこまれ	2		1		1			3	2			1			10
切れ・こすれ															
おぼれ									1		1		3		5
爆発・破裂												1			1
交通事故								1	11	9					21
上記以外の型													2	1	3
計	10		1		2		5	23	12	2	16	2	10	4	87

- ◆労働者死傷病報告の電子申請化(令和7年1月1日)に伴い、統計分類の「事故の型」「起因物」が一部細分化。
- ◆電子申請化以前の統計分類との整合性・統一性を確保するためこれまでの統計分類に分類。

(3)徳島県内の死亡労働災害一覧（令和7年）

	発生日	事故の型	起因物	業種	性別	職種等
	時間			事業場規模	年齢	
①	1月	2メートル以上からの墜落・転落	斜面	土木工事業	男	作業員
	16時台			1～9人	60歳代	
斜面上で運搬作業中、転落した。						
②	1月	転倒（滑り）	斜面	農業	男	作業員
	8時台			1～9人	40歳代	
貯水池周囲で作業中、足を滑らせ池に転落し溺れた。						
③	1月	激突され	立木等	警備業	男	作業員
	9時台			10～19人	70歳代	
制限区域内に入り込んだ被災者が、伐倒木に激突された。						
④	4月	激突され	立木等	林業	男	作業員
	14時台			1～9人	40歳代	
伐倒作業中、伐倒木に激突された。						
⑤	5月	交通事故	車両	運輸交通業	男	運転手
	0時台			30～49人	70歳代	
車両運転中、道路から車両とともに転落し炎上した。						
⑥	6月	その他の転倒	掘削用機械	農業	男	作業員
	14時台			1～9人	70歳代	
整地作業中、掘削用機械と共に転倒した。						
⑦	7月	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	運輸交通業	男	作業員
	19時台			10～19人	60歳代	
除草作業中、熱中症になった。						
⑧	7月	おぼれ	水	社会福祉施設	男	施設職員
	13時台			1～9人	40歳代	
川で溺れそうな施設利用者を助けようとして、溺れた。						
⑨	7月	交通事故	トラック	建設業	男	作業員
	12時台			10～19人	50歳代	
現場事務所から資材を回収し自社に向かい高速道を走行中、対向車に衝突した。						
⑩	12月	2メートル以上からの墜落・転落	締固め用機械	建設業	男	作業員
	10時台			1～9人	60歳代	
道路の締固め作業で仮設道路を走行中、ロードローラーと共に川に転落した。						

(4)業種別死傷労働災害発生状況(休業4日以上)(コロナリ患者を除く)

令和7年確定値

	第13次防期間実績					第14次防推進計画					対前年同期比較			
	発生状況					発生状況					前年同期	令和7年	対前年同期比	
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年				
製 造 業	食 料 品 製 造 業	54	53	61	66	66	43	46	43			46	43	-6.5%
	木 材 木 製 品 製 造 業	16	24	13	16	19	25	26	21			26	21	-19.2%
	家 具 装 備 品 製 造 業	19	7	14	9	9	13	11	5			11	5	-54.5%
	紙、印刷製本製造業	5	12	12	9	13	9	9	13			9	13	44.4%
	化 学 工 業	18	25	12	25	21	26	21	23			22	23	4.5%
	窯業土石製品製造業	10	11	5	11	8	12	5	10			5	10	100.0%
	金 属 製 品 製 造 業	22	19	14	15	23	12	21	10			20	10	-50.0%
	一 般 機 械 器 具 製 造 業	10	9	7	7	8	8	12	4			12	4	-66.7%
	輸 送 用 機 械 製 造 業	12	10	6	8	7	8	5	1			5	1	-80.0%
	上 記 以 外 の 製 造 業	25	15	26	31	25	24	25	28			25	28	12.0%
計	191	185	170	197	199	180	181	158			181	158	-12.7%	
建 設 業	土 木 工 事 業	36	50	63	49	43	38	41	53			41	53	29.3%
	建 築 工 事 業	60	81	64	54	71	55	41	43			41	43	4.9%
	そ の 他 の 建 設 業	29	16	30	29	21	32	28	34			28	34	21.4%
計	125	147	157	132	135	125	110	130			110	130	18.2%	
運 輸 交 通 業	道 路 貨 物 運 送 業	88	75	76	95	85	74	58	66			58	66	13.8%
	そ の 他 の 運 輸 交 通 業	10	8	7	6	9	7	3	6			3	6	100.0%
計	98	83	83	101	94	81	61	72			61	72	18.0%	
林 業		31	8	18	19	29	22	22	22			22	22	0.0%
第 三 次 産 業	小 売 業	78	78	96	88	108	77	85	84			85	84	-1.2%
	医 療 保 健 業	43	33	47	57	50	36	43	66			43	66	53.5%
	社 会 福 祉 施 設	64	63	88	70	75	72	72	85			72	85	18.1%
	飲 食 店	22	22	25	32	34	33	24	31			24	31	29.2%
	清 掃 ・ と 畜 業	39	46	42	41	41	30	45	35			45	35	-22.2%
	通 信 業	17	23	19	21	16	14	23	20			23	20	-13.0%
	上 記 以 外 の 第 三 次 産 業	82	78	98	108	105	95	114	126			114	126	10.5%
計	345	343	415	417	429	357	406	447			406	447	10.1%	
上 記 以 外 の 事 業	32	28	27	31	28	31	43	31			43	31	-27.9%	
合 計	822	794	870	897	914	796	823	860			823	860	4.5%	

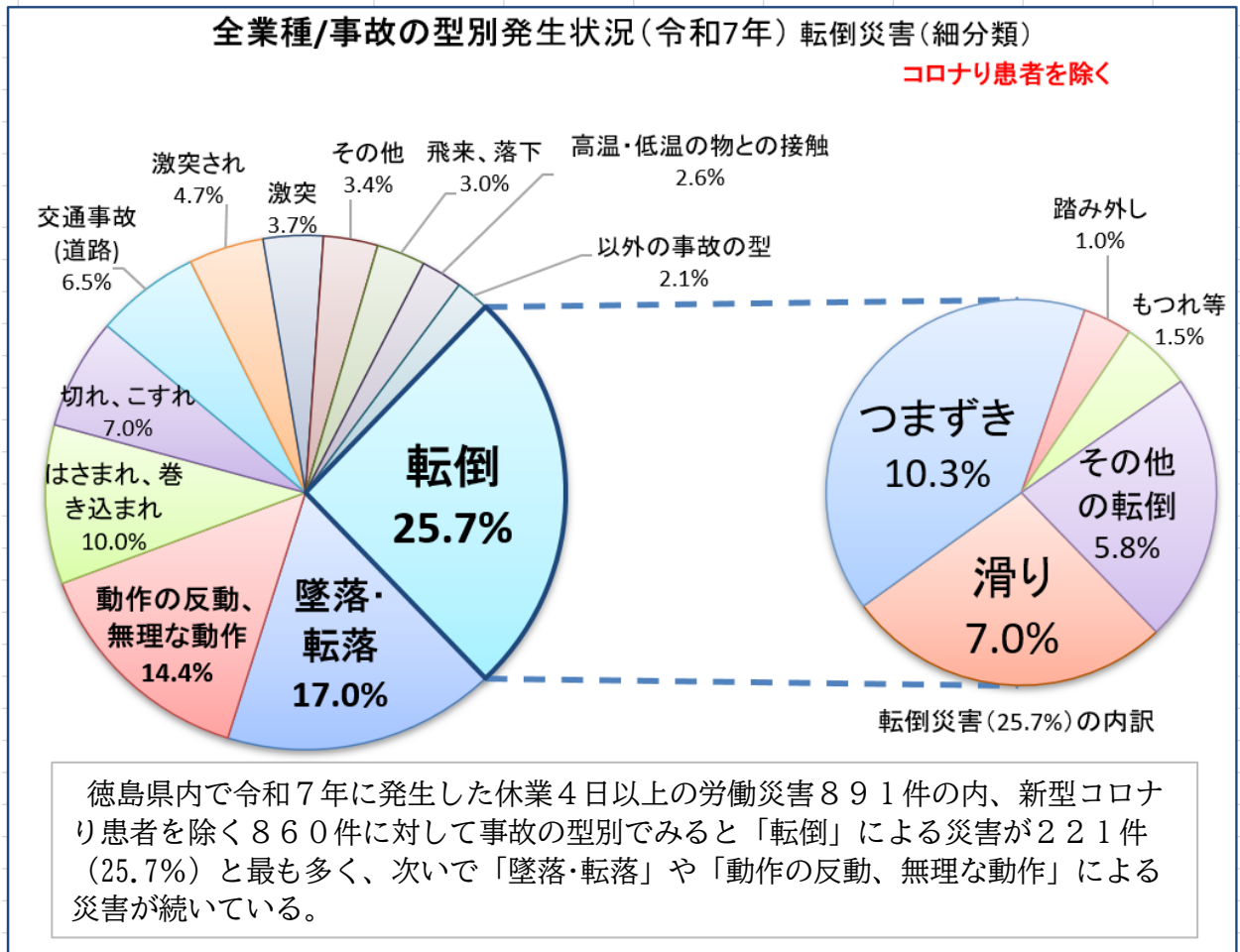
新型コロナウイルス感染症の件数

(6) (120) (1125) (364) (149) (31)

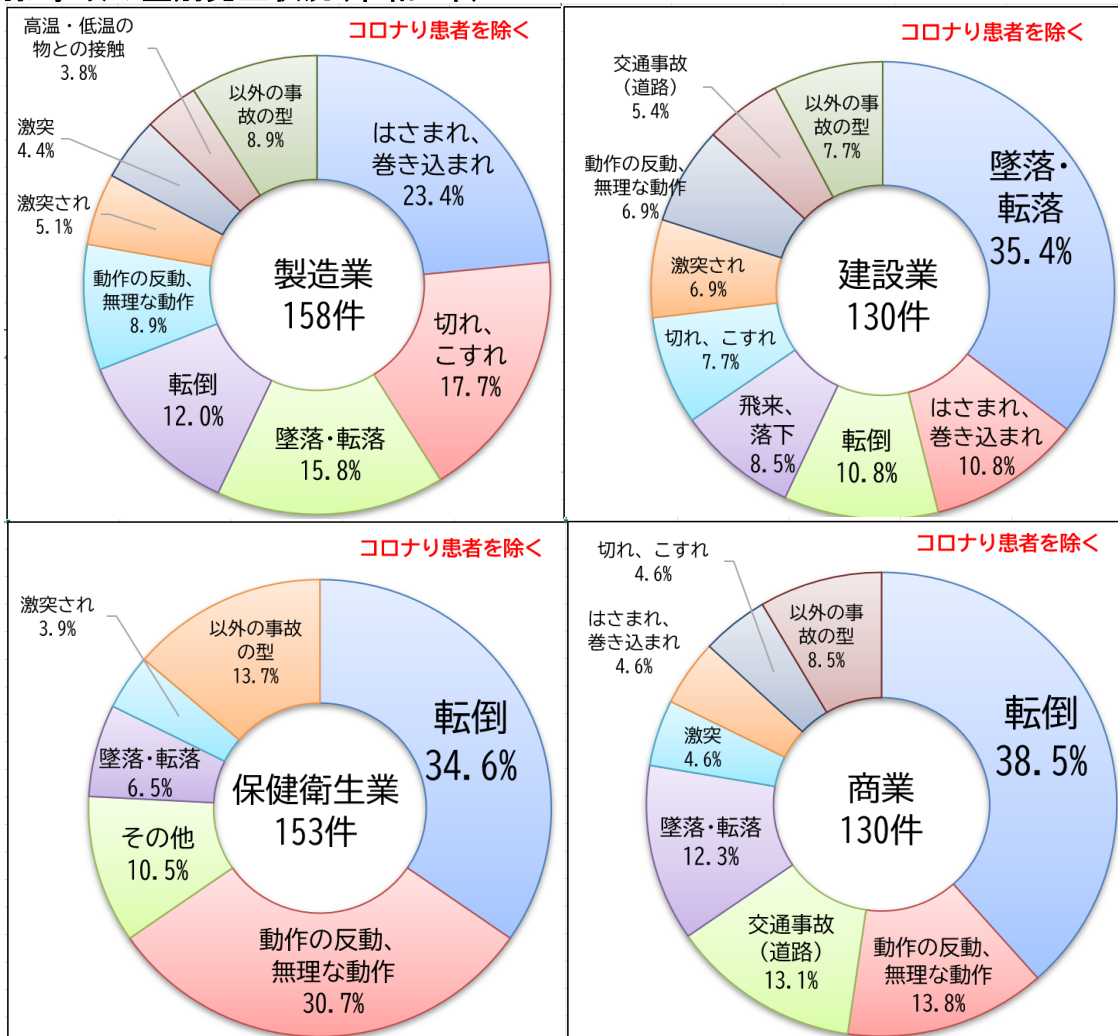
(149) (31)

(5) 令和7年事故の型別労働災害発生状況(休業4日以上)(コロナリ患者を除く)

① 全業種/事故の型別発生状況(令和7年)



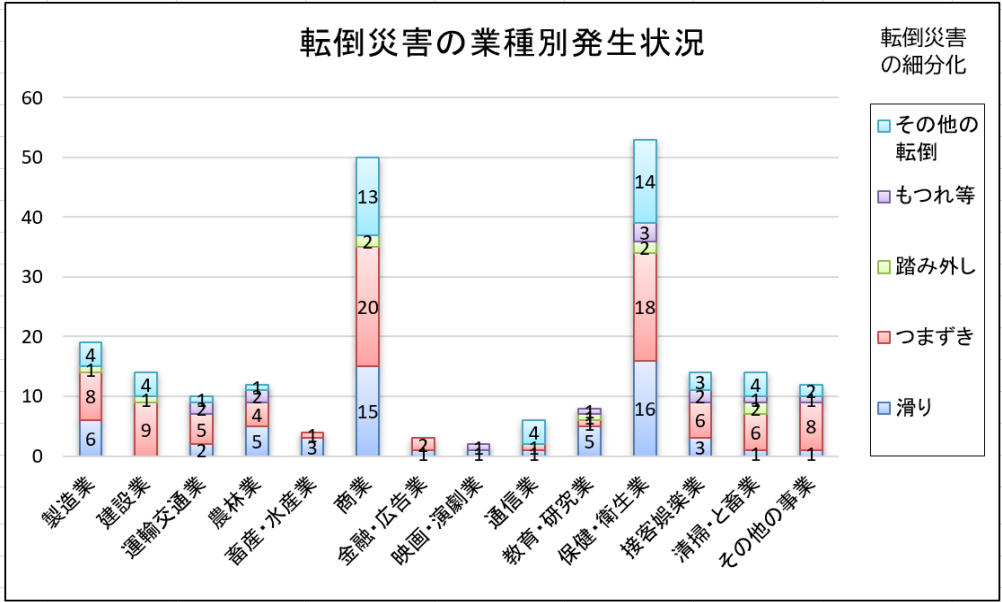
② 業種別/事故の型別発生状況(令和7年)



(6) 転倒災害の発生状況(休業4日以上)

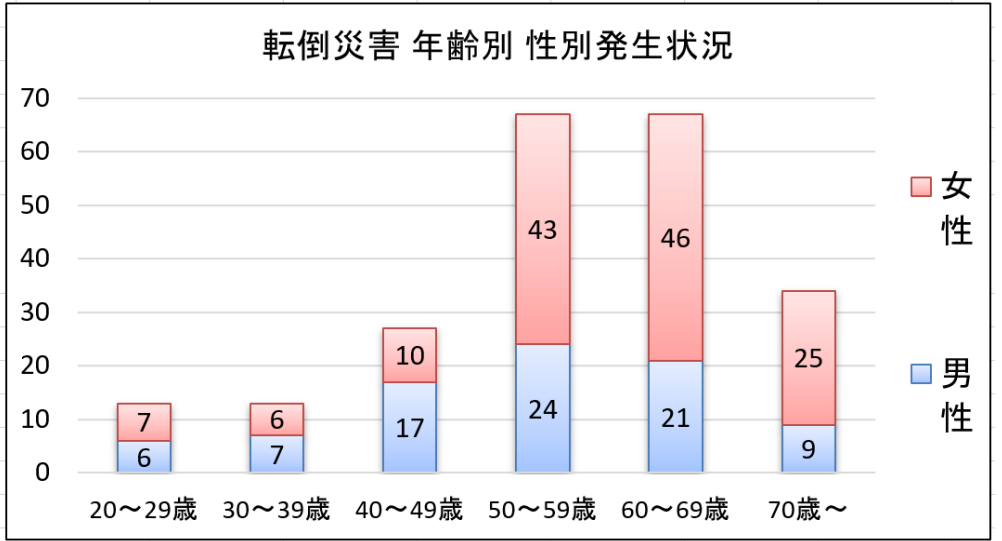
① 業種別発生状況(令和7年)

※資料出所:労働者死傷病報告による



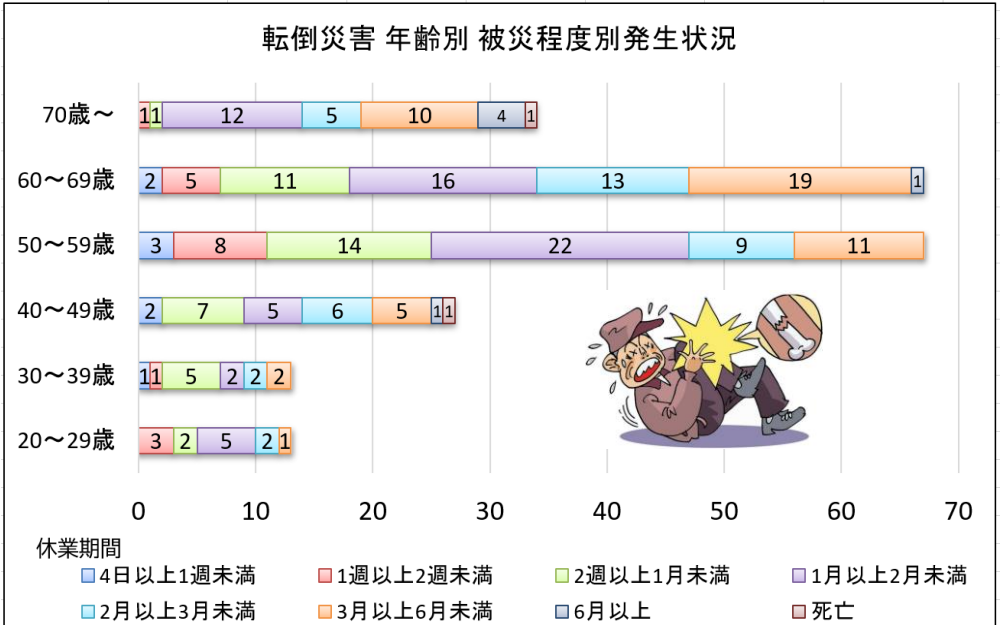
徳島県内で令和7年に発生した「転倒」災害による死傷者数は、合計で221人であり、業種別の内訳を見ると、保健衛生業が最も多く、次いで商業の順となっている。

② 年齢別発生状況(令和7年)



年齢別で見ると、年齢が上がることも同時に転倒災害発生件数増加しており、50歳から69歳で多く、50歳以上の合計では168件となり、全体の76.0%を占めている。

③ 年齢別/被災程度別発生状況(令和6年)



年齢別/被災程度別で見ると、年齢が上がることも同時に療養に要する休業期間が長期化する傾向にあることが認められる。

